

環境経営レポート

テラト一株式会社

2023 年度

(対象期間 2023 年3月1日～ 2024 年2月28日)



テラト一株式会社

作成日： 2024年4月28日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

当社は、お砂糖などの糖類を販売しております。この度環境に対する取り組みを初めて行います。今までは、企業の取り組みは不要だと思っていましたが、時代が進むに連れて環境に対する取り組みや、企業責任というものがなお一層重要視されています。

砂糖も同じく、時代の流れによりいろいろと変わっているのに企業が変わらないのはいけない事だと思いこの度取り組む事を始めました。

はじめは、各個人が出来るところから取り組んでいこうという所から始めていき、徐々に目標値を上げていきたいと思います。

環境経営方針

<環境経営理念>

「甘味」を通じて社会に貢献する企業を目指すという弊社経営理念を念頭に、本業である糖類及び食品の卸売業を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

安全で安心していただける製品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめ、食品リサイクル率の向上に努めます。
4. 安心で安全な商品を効率よくタイムリーにお客様にお届けします。
5. 品質・コスト・納期の基本的な取引条件の中で、企業の社会的責任を配慮し、当社の特色を生かし、企業の発展に努めます。
6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2021年7月1日

代表取締役社長 寺西智太郎

- (1) 名称及び代表者名
テラト株式会社
代表取締役社長 寺西 智太郎
- (2) 所在地
本社 大阪府大阪市中央区瓦屋町3丁目4番15号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 業務部部长 寺西 聖翔 TEL：06-6763-0315
担当者 業務部 岩本 誠 TEL：06-6763-0315
- (4) 事業内容
糖類及び食品の卸売業
- (5) 事業の規模
売上高 121 億円
- | | |
|----------------------|--------------------|
| | 本 社 |
| 従業員 名 | 21 名 |
| 延べ床面積 m ² | 605 m ² |
- (6) 事業年度 3 月 1 日 ~ 2 月 28 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： テラト株式会社
対象事業所： 本 社
対象外： なし
活動： 糖類及び食品の卸売業

□事業や製品(商品)の紹介

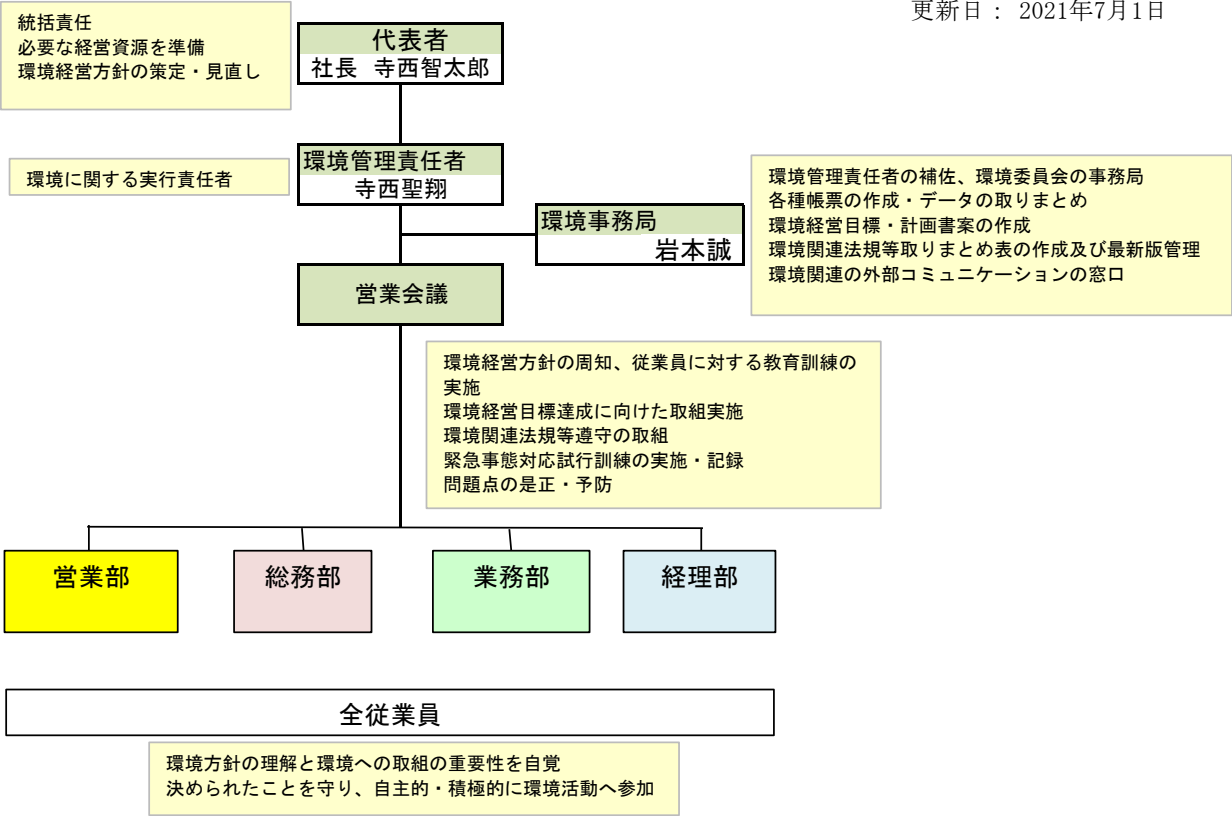
主な事業・・・砂糖・食品販売

1930年（昭和5年）砂糖問屋として開業し、現在は砂糖だけではなく一般食品及び、機能性食材等も取り扱うようになりました。お客様の多様なニーズにお答えすべく、安心・安全な商品をご提案しております。今後も、甘味の販売を通して、社会に貢献する企業を目指して参りたいと存じます。



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2021年7月1日



□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	67,403	68,615	65,769
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	529	965	957
産業廃棄物排出量	kg	127	720	300
食品廃棄物				
発生量	kg	127	720	300
発生抑制量		0	0	0
再生利用量		127	720	300
熱回収量		0	0	0
減量量		0	0	0
再生利用以外の量		0	0	0
廃棄物処理量		0	0	0
食品再資源化実施率	%	100%	100%	100%
水使用量	m ³	179	222	207
電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.318	0.318	0.318
採用電力会社名		関西電力	関西電力	関西電力
採用年度		2019年	2019年	2019年

□環境経営目標及びその実績

年 度		2022年	2023年		評 価	2024年	2025年
項 目		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	12,291	12,045	10,664	○	11,922	11,799
	基準年度比		98%	87%		97%	96%
	原単位 kg-CO2/百万円	1.172	1.149	0.881	○	1.137	1.125
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	56,324	55,198	55,104	○	54,634	54,071
	基準年度比		98%	98%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	68,615	67,243	65,769	○	66,556	65,870
一般廃棄物の削減	kg	965	917	957	×	917	897
	基準年度比		95%	99%		95%	93%
食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上	自主目標		51%	100%	○	53%	55%
	食り法目標		51%		○		
水道水の削減	m ³	222	211	207	○	204	200
	基準年度比		95%	93%		92%	90%
安心で安全な商品の効率提供	行動目標(次項による)						

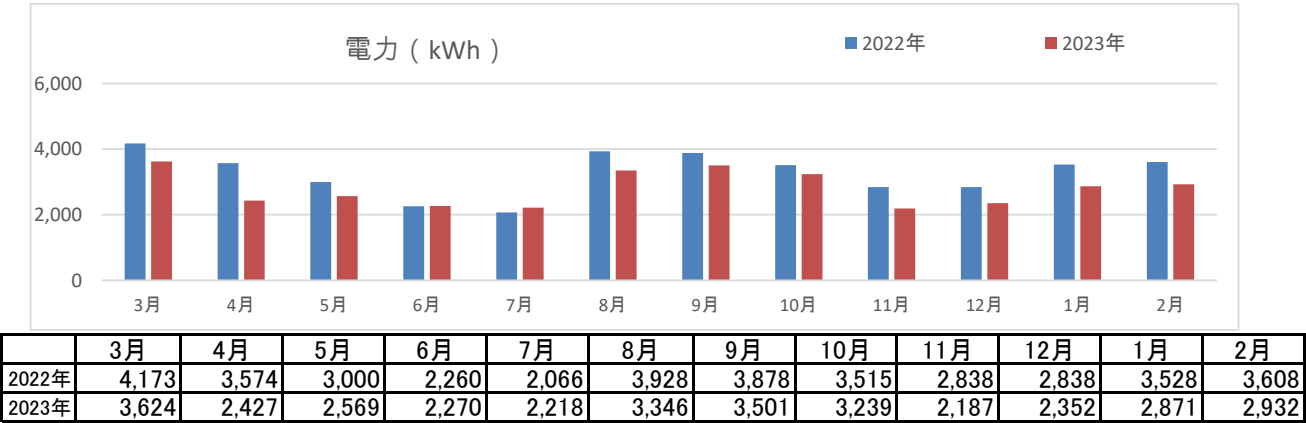
※ 化学物質は発生していません。
※ 電力による二酸化炭素削減の原単位数値は2023年(実績)以外は2022年の売上高で算出しています。

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

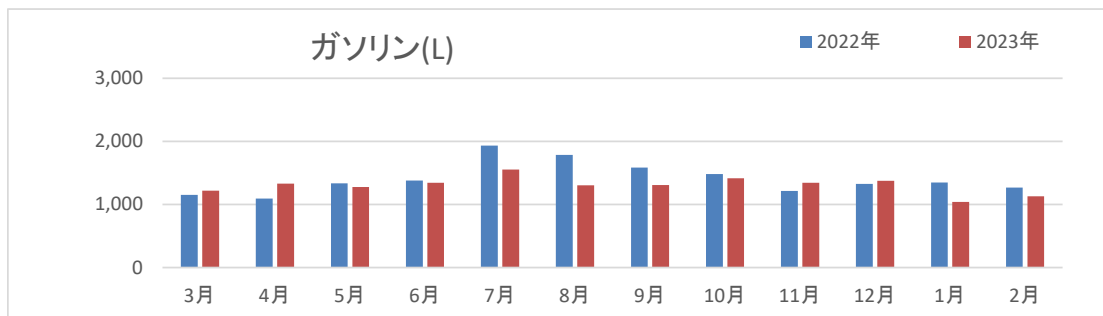
数値目標: ○達成 ×未達成
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった



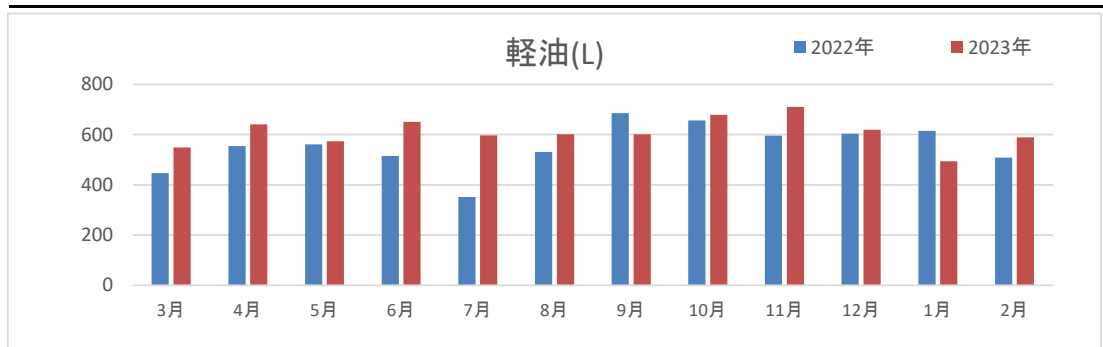
取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	各自、節電対策でPCなどの家電機器や部屋の電気のこまめな消灯を行って来ているが、一部できていない者もいるので徹底させていく。
原単位目標	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	×	
・不要照明の消灯	△	
・パソコン、コピー機等OA機器の省電力設定	△	



自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	今期から、随時ガソリン車からハイブリッド車に切り替わり更に配送スケジュールの方も各自考えながら業務にあたっているのので来期も継続していく。
・アイドリングストップ	△	
・効率的なルートで配送	△	
・エリア別営業活動の見直し	△	

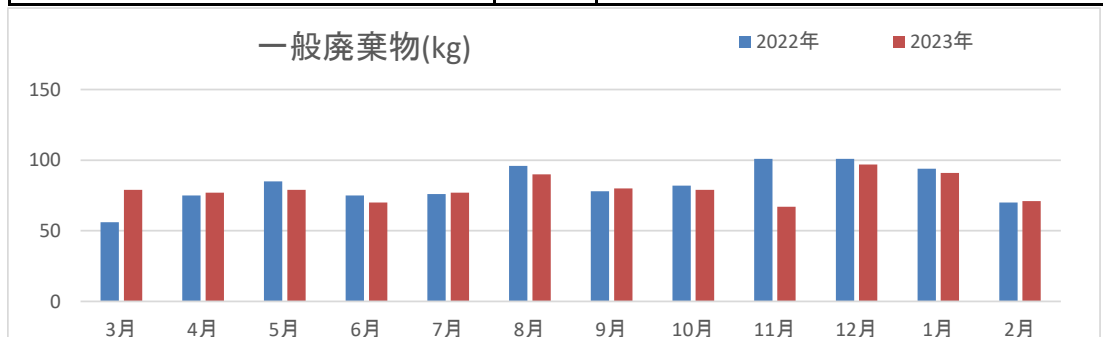


	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2022年	1,151	1,095	1,336	1,380	1,934	1,787	1,586	1,484	1,214	1,326	1,350	1,268
2023年	1,217	1,332	1,276	1,342	1,552	1,303	1,306	1,414	1,343	1,375	1,038	1,129



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2022年	447	554	561	515	351	531	686	656	596	604	615	508
2023年	549	641	574	651	597	601	601	679	710	620	494	589

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	分別作業は対応できているが、限界があるので今後は更にどのようにすれば改善できるかを詰めていくように。
・分別の徹底	△	
・帳票見直しによる印刷物の削減	×	
・コピー等、裏紙の使用推進	△	

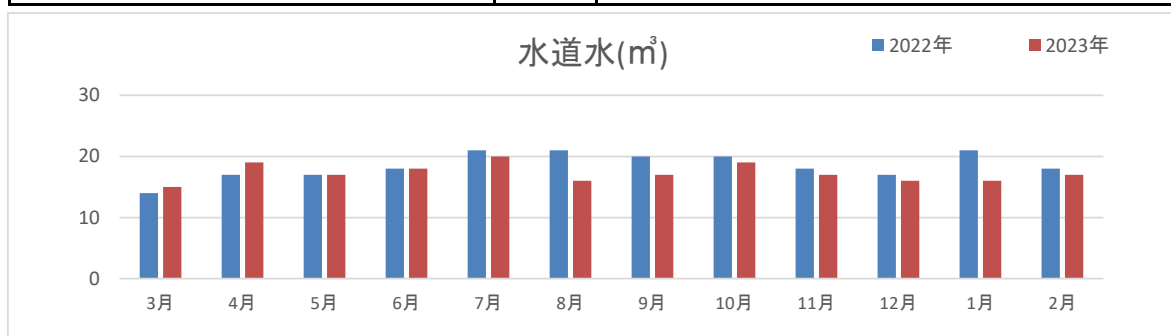


	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2022年	56	75	85	75	76	96	78	82	101	101	94	70
2023年	79	77	79	70	77	90	80	79	67	97	91	71

食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	商品の破損などによって、不良在庫などが出てきているので早急に対策を立てるように。
・分別の徹底	○	
・運搬中及び保管中の破損・破袋ロスの削減	△	
・賞味期限管理の見直し	△	



水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	各洗面台に節水の啓発シールを張る等を行っている為か各自出来ているので結果が出てきているが、限界があるので更に何が出来るかを考えていく。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・洗浄時の流しっぱなしをしない	△	



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2022年	14	17	17	18	21	21	20	20	18	17	21	18
2023年	15	19	17	18	20	16	17	19	17	16	16	17

安心で安全な商品の効率提供	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
機能性食品等の分野にも拡販をすすめる	○	メーカーと二人三脚で機能性商材の販売を継続していく。
HACCPの考え方を取り入れた衛生管理に取り組む	○	



課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・企業PRによる顧客獲得	○	現在、自社のHPを製作を行っているので、今後はHPだけでなく名刺にQRコード等も添付してPRができればなお良し。
・新規顧客の獲得	○	
・働き方改革	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（動植物性残さ、廃プラ）
食品リサイクル法	食品廃棄物
家電リサイクル法	家電製品
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
食品リサイクル法の事業者ごとの基準実施率は達成しています。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

外部からの苦情等は発生しておりません。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生		11 法人本部で実施する 災害対応訓練	12 つくば事業部 の対応訓練
■実施日： 2023/11/2		■実施場所 社内事務所、倉庫	
■参加者： 寺西、岩本			
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☐ 消火訓練 ☒ 避難訓練			
■評価：		手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	
避難経路の確認（社内、最寄りの避難場所）、消火設備（警報機、消火器）設置場所と使用方法確認			
■実施状況の様子			
			

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年4月1日

今期でエコアクション21取得し2年が経過致しました。弊社取引先様からも卸売業における立場で、環境問題に対する取組や実績について、アンケート形式での問い合わせが、年々増えてきております。このエコアクション21の活動を実践することによって、継続的に環境問題に取り組むかたちとなっております。今後も、企業の社会的責任、持続可能な成長を目指して地道な活動を続けていきたいと思っております。今後も、各個人が出来ることから始め、企業全体として徐々に目標値を上げて行ければと思っています。

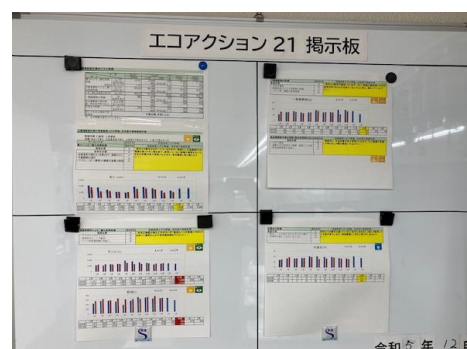
環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

◎会社周辺の清掃ボランティア



◎弊社事務所の掲示板上で毎月の結果を掲示している。



□編集後記

このプロジェクトに取り組むことになり、3年が過ぎようとしています。皆さんの地道な活動と名刺のロゴマークをきっかけに、お取引先にも少しずつですが認知されてきました。SDGsの取組みとCSR活動の一旦として、一歩ずつ活動の輪を広げていく事を目標に、前向きに頑張りたいと思います。今後ともご協力頂きますようお願い致します。